

2023 年度 豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト募集要項

本プロジェクトは、豊橋技術科学大学（以下「本学」）の教員が、高等専門学校（以下「高専」）の教員と共同で新しい教育・研究の開拓を行うとともに、高専と本学との連携を深めることを目的としたプロジェクトに対して必要な経費を配分するものです。

本学教員が高専教員などと共同研究を実施するのみならず、高専教員ならびに高専学生に本学を身近に感じてもらい、高専教員と本学教員が連携して高専学生を育成することを目的とします。併せて、プロジェクトの実施に際し、高専教員あるいは高専学生が本学の教育・研究設備を活用することにより、教育・研究面での成果を効率的に挙げるとともに、本学との教育・研究面における連携を強化することを目的とします。これらの目的達成のためのプロジェクトに対して必要な経費を配分します。

過去に実施してきた本プロジェクトの成果を熟慮し、昨年度からより高い研究成果を上げていただけるよう、最長2年間のプロジェクトでの応募が可能となっています。これにより、プロジェクトの成果としては、本学教員との連名による論文発表や、国内外の学会での発表等の実績を求めます。

なお、本プロジェクトは 2022 年度と同プロジェクト採択者の継続課題のみを対象として案内しております。新規提案に関しては、別途、新規応募者向けの新設プログラム（MILLA 高専連携教育研究支援プログラム（仮称））をご案内する予定（6月初旬）です。

1. 応募対象者

2022 年度に高専連携教育研究プロジェクト（研究推進プロジェクト）に採択された高専教員（1 名あたり 1 件のみ。ただし複数テーマの共同研究者になることは可能です）。

(注) 本学教員の共同研究者としての参画は最大 3 件までとしています。本学教員の参画件数はプロジェクトの代表者（高専教員）が事前に確認してください。

2. 研究期間

本事業の契約締結の日から 2024 年 3 月 31 日 まで

3. 募集プロジェクト種目

研究推進プロジェクト

4. 応募・審査区分

次の 6 区分から最も近いものを選択してください。

- A) 機械
- B) 電気・電子
- C) 情報
- D) 化学・生命科学
- E) 建築・土木
- F) 教育・教材開発

5. 詳細

① 趣旨

高専教員と本学教員の共同研究を通じて高専学生を育成するとともに、高専と本学との教育・研究面における連携を強化するために実施するプロジェクト

② 対象・研究体制

高専教員を代表者とする高専教員（複数も可）、高専学生（本科生、専攻科生）、および本学教員の 3 者からなる共同研究グループ。本学学生（学部生、大学院生）の参画も可能です。審査区分 F 以外のプロジェクトは、代表者が所属する高専の本科 5 年生または専攻科生 1 名以上を加えて、高専と本学協働による学生指導体制を構築する必要があります。

③ 助成金額

30 万円以内（30 件程度を採択予定）

申請内容や予算額により、採択件数及び助成金額は変更となる場合があります。

④ 成果報告

- ・ プロジェクト実施期間終了後（5 月末日まで）に、研究成果報告書（様式自由、A4 サ

イズ、2頁程度)を提出する必要があります。

- ・ 本学が主催する学術研究発表会(例えば先進的技術シンポジウム(ATS2023)を予定)にて発表を依頼する場合があります。ATS2023の詳細に関しては現在検討中であり、決定次第採択者にお知らせします。本学が主催する学術研究発表会に参加される場合には、研究成果報告書を当該発表会で求められる研究概要とあわせて提出することが可能です。

⑤ その他

- ・ 最終年度までの成果として学術論文発表や、国内外で開催される学会等での発表を求めます。

6. 支出できる範囲

① 旅費

- プロジェクト参画学生(高専学生)への旅費支給も可能です。

② 消耗品費

- 消耗品などの購入は、本プロジェクトに使用するものに限り(ここでいう「消耗品」とは、単価10万円未満の物品すべて、および単価10万円以上の物品のうちおよそ1年以内に消耗する物品のことをいいます)。

③ その他

- 報告書印刷費は、本プロジェクトによるサポートを受けた旨を明記したものに限り別刷代・投稿料も可能です。

※ 支出できないもの

- 設備備品(ここでいう「設備備品」は、単価10万円以上であり、およそ1年以上の耐久性のある物品のことをいいます)。
- 人件費、学生などへの謝金。

7. 応募方法

高専教員が「高専連携教育研究プロジェクト計画調書」を作成し、研究内容などを本学教員と連絡・調整した上で、高専教員が本学担当事務へ送付してください。

応募書類： 高専連携教育研究プロジェクト計画調書(以下のURLに掲載)

<https://www.tut.ac.jp/develop/kosen/kousen-pj-kk.html>

計画調書の枠や文字サイズの変更は認められません。

整理番号は昨年度の整理番号を記入してください。

応募締切： 2023年5月29日(月) 17:00

提出先： 豊橋技術科学大学教務課連携教育支援係 renkeikyousien@office.tut.ac.jp

E-mailにてエクセルファイルを提出してください。

送信後、2営業日(土日祝を除く)までに通知がない場合は問い合わせてください。

8. 選考方法

高専連携地方創生機構が、高専連携教育研究プロジェクト計画調書に基づいて、類似のテーマなどについてはグループ研究として1つの課題とし、研究内容を検討・全体調整を行った上で、学長が採否を決定します。また、奨励事項の実現可能性などを考慮する場合があります。

9. その他

- ① 先進的技術シンポジウム(ATS)は、次回の実施を検討中です。開催が決定次第、詳細をお知らせします。
- ② 学会での研究発表など対外的な公表を奨励します。本プロジェクトに関する成果を発表する場合は、「豊橋技術科学大学 高専連携教育研究プロジェクト」の支援を受けて行ったことを謝辞に記載してください。
- ③ プロジェクト終了後、外部資金への応募を奨励します。

- ④ 予算は、各高専（申請者所属の高専）へ全額配分します（複数の高専へ分割して配分はできません）。
- ⑤ 高専に配分される経費については、指定様式による会計報告を行う必要があります。なお、支出した経費が、本プロジェクト申請内訳と著しく異なる場合には、会計報告とともに理由書（様式自由）を提出する必要があります。
- ⑥ 採択されたプロジェクトをやむを得ず中止する場合は、原則、その年度の経費全額を返金してください。
- ⑦ 応募書類に不明な点があった場合には、申請者（高専教員）へ E-mail にて問い合わせします。
- ⑧ 本プロジェクトに関する情報は、高専連携教育研究プロジェクトホームページ（<https://www.tut.ac.jp/develop/kosen/kousen-pj-kk.html>）に掲載します。掲載された情報はすべて周知されたものとして取り扱います。
- ⑨ 本学教員との共同研究者は、本学の研究機器や計算資源を利用することができます。
 - A) 研究機器共同利用 (<https://rac.tut.ac.jp/org03/kitei.html>)
 - B) TUT-高専共用 HPC サービス (<https://hpcportal.imc.tut.ac.jp/>)